

黒い雨被害者の会 仁比議員と厚労省交渉 自民党国会議員とも共同して



広島県「黒い雨」原爆被害者の会連絡協議会は11日、厚労省に被爆地域の拡大を要望しました。代表7人が上京し、広島市と県による調査の降雨域全域を「大雨地域」と同じく、第1種健康診断受診者証交付地域に指定するよう申し入れました。

この交渉には、仁比聡平参議院議員とともに広島県選出の自民党国会議員が同席。仁比議員は「自民党と共産党の議員

が同席していることが、問題の重要性を物語っている。一日も早い救済を」と迫りました。

児童手当差し押さえ高裁判決をうけ、知事が謝罪・市谷県議質問に

鳥取県が差し押さえた児童手当の返還を求める広島高裁の判決がでた問題で、平井鳥取県知事は「判決が確定すれば原告に謝罪し児童手当13万円を返還する」と表明しました。12月10日の県議会本会議で、市谷知子共産党県議の質問に答えたものです。

知事は、「判決を真摯に受け止める。違法と判断されるような徴税業務があったことは、誠意をもって今後納税者に接したい。納税された方（原告）に謝罪したい」と答弁しました。

また質疑の中で当局は、違法な差し押さえを招いた「滞納整理マニュアル」の差し押さえ禁止債権の取り扱いについて、①月3・5回以上の出入金を繰り返す口座は生活口座として認定する。②預金が差し押さえ禁止債権を含む場合は、その金額を控除して差し押さえる。③差し押さえ後に申し出があり、差し押さえ禁止債権と確認できた場合は解除し取り消す一などの方向で是正の検討をしていることを明らかにしました。

「特別期間」の押し上げへ 議員・候補が先頭に立って

・・山口県委員会の「大運動ニュース」より・・

山口県議団では、議会最終日の団会議で年末までの目標を決め、特別期間の先頭に立っています。それを受けて岩国の松田県議候補も年末までに、「黨員2人、日刊紙5部、日曜版20部」の拡大に挑戦する決意をしました。

そしてさっそく岩国業者支部と組をつくり19歳と24歳の青年2人に入党を訴え二人とも入党しました。19歳はブラック企業勤めで、以前から相談にのり、24歳は民商会員の店の従業員で災害ボランティアにも参加した人。焼肉にさそい一緒に決意してもらいました。これで松田候補は年末までの黨員拡大目標達成です。